

遠藤原子力委員の第42回IAEA通常総会出席等について（結果概要）

平成10年9月29日

I. 日時：平成10年9月19日（土）～27日（日）

II. 場所：オーストリア（ウィーン）、スイス（グリムゼル）等

III. 結果概要

①個別会談

(1) 竹山大臣とエルバラダイ事務局長、リチャードソン米エネルギー省長官、デスカタ仏原子力庁長官、アダモフ露原子力大臣代行との会談に同席。（結果については報告済み）

(2) 各国原子力関係者との会談

・チダンバラン・インド原子力委員会委員長、アーマッド・パキスタン原子力委員会委員長、張華祝中国国家原子能機構委員長、スプキ・インドネシア原子力庁長官、マヌーン・タイ原子力庁次官及びストラトフォード米国務省原子力部長とそれぞれ会談し、各国と我が国の原子力事情について意見交換を行った。

・中国、インドネシア及びタイの関係者との会談では、来年3月10日に開催予定の第10回アジア地域原子力協力国際会議について紹介するとともに、原子力の推進にあたってはPAが重要であり、取り組みの一つとしてIAEA主催のPAセミナーの開催等がある旨述べた。

②IAEA科学フォーラム（原子力政策会合）

・9月23日に標記会合が開催され、ピアホファー独原子炉安全協会（GRS）所長の司会の下、エルバラダイ事務局長をはじめ、米・露など主要原子力国の政策責任者が出席し、各国の原子力事情について報告した。

・遠藤委員からは、我が国の原子力事情について資源エネルギー論、環境論（地球温暖化防止対策を含む）、経済論から、我が国では原子力発電を増設する必要があること、再処理、高速増殖炉及びプルサーマルを軸とした核燃料サイクルを推進する必要があること、他方原子力の抱える問題として、技術的安全から社会的安心を得るためのPA及び高レベル放射性廃棄物処分が極めて重要であることを述べた。

③スイス・グリムゼル地下研究施設視察

- ・9月25日に、スイス放射性廃棄物管理組合（nagra）国際支援・協力本部のキックマイヤー・プロジェクトマネージャー（グリムゼル地下実験場担当）の案内の下、スイス・グリムゼル地下研究施設を視察するとともに、両国の原子力事情について意見交換を行った。
- ・スイスでは高レベル放射性廃棄物及び中・低レベル放射性廃棄物の2つの処分場を建設する予定である。中・低レベル放射性廃棄物処分場については現在計画が進められており、これが順調に進めば、高レベル放射性廃棄物処分場選定についても理解が得られやすく、円滑に進むとの見通しを持っている。
- ・地下研究施設では、国際的な協力体制の下、地層処分の技術的信頼性実証のための工学試験、安全性検証のための様々な試験が行われている。それとともに本施設には多くの見学者が訪れており（本年上半期で2000～3000人）、PAに果たす役割も大きい。
- ・地下研究施設の立地にあたって特別な地元振興方策はとられていないものの、地元からの反対はなく、これは、nagraの徹底した情報公開や施設見学などのPA方策に依るところが大きいと考えている。